

議会だより



主な内容

主な内容	ページ
審議された議案など	2
討論	3
一般質問(5人)	4
議会報告会	10
常任委員会レポート	11
議会日程・傍聴案内	16



秋季祭礼、4年ぶりの獅子舞(大崎区)
(説明は裏表紙)

発行日/令和4年11月1日

編集/かほく市議会広報特別委員会

ホームページ <https://www.city.kahoku.lg.jp>
住所/石川県かほく市宇野気二丁目番地

Eメール gikai@city.kahoku.lg.jp
TEL 076(283)7126 FAX 076(283)7188

令和4年 第4回かほく市議会定例会のお知らせ (11/29~12/15)

日	月	火	水	木	金	土
		11/29 初日	30	12/1	2	3
		10:00 本会議 (議案説明ほか) 全員協議会 予算決算常任委員会	13:30 議会運営委員会			
4	5	6	7	8	9	10
		議会運営委員会 10:00 本会議 (一般質問) 広報特別委員会	10:00 本会議 (一般質問)	9:00 総務建設常任委員会 総務建設分科会	9:00 市民文教常任委員会 市民文教分科会	
11	12	13	14	15 最終日		
		13:30 予算決算常任委員会 議会運営委員会		10:00 本会議 (討論、採決ほか) 全員協議会		

議会からのお願い



議会だより作成のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

議会を傍聴しませんか!

議会ではどんなことが議論されているのか、本会議・常任委員会などを傍聴してみませんか。どうぞ、お気軽にお越しください。

傍聴の定員は、本会議は30人、各常任委員会・全員協議会は8人です。(受付順)
※新型コロナ対策として人数制限する場合があります。
※傍聴の際は、マスクなどの着用をお願いします。



本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。

表紙写真の説明

10月8日(土)、大崎区において秋季祭礼が行われました。

秋晴れとはなりませんでしたが、台風やコロナ禍により、中止となっていた渡御・還幸祭を4年振りに開催することができました。

また、コミュニティ助成により新調された獅子頭とカヤも披露することができ、多くの方に参加していただきました。

区民みなさんの笑顔が見られ、感動いたしました。

(T. N.)



「議会だより」をスマホで読む!



アプリのダウンロードは、右の二次元バーコードからアクセスできます。



※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

※印刷コスト 1部 21円(発行部数 12,700部)

令和4年第3回定例会

会期/8月30日～9月22日

議決結果で賛否が分かれた案件

議案番号	議案名等	議員名(議席番号順)														
		長柄裕	池田義治	中川康弘	塚本和子	野田稔彦	大西潤	丸井一範	金子猛	坂井正毅	高橋成典	杉本正一	竹内幹雄	杉本成一	寺内照雄	猪村博靖
認定第1号	令和3年度かほく市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※ ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 猪村博靖議員は議長職のため採決には加わりません。

審議された議案と審議結果

〔市長提出議案〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第43号	令和4年度かほく市一般会計補正予算(第4号)	予算決算	原案可決 (全会一致)
議案第44号	令和4年度かほく市墓地特別会計補正予算(第1号)		
議案第45号	令和4年度かほく市水道事業会計補正予算(第2号)		
議案第46号	かほく市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	総務建設	
議案第47号	かほく市税条例等の一部を改正する条例について		
議案第48号	字の区域及び小字の名称の変更について		
議案第49号	令和4年度かほく市一般会計補正予算(第5号)	予算決算	

〔市長提出議案(決算)〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
認定第1号	令和3年度かほく市一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	原案認定 (賛成多数)
認定第2号	令和3年度かほく市営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第3号	令和3年度かほく市墓地特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第4号	令和3年度かほく市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第5号	令和3年度かほく市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第6号	令和3年度かほく市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第7号	令和3年度かほく市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第8号	令和3年度かほく市大海財産区特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第9号	令和3年度かほく市水道事業会計決算の認定について		
認定第10号	令和3年度かほく市下水道事業会計決算の認定について		

討論

議案に対して2氏が討論

認定第1号反対

高橋成典

県の地方税滞納整理機構に、3千～4千件の滞納回収業務を委託し、納税者への厳しい取り立てなどに対し、市民から批判の声が上がっている。

また、「市税等コールセンター(予算245万円余)」は、委託先の民間業者に年間2300件を超える大量の業務を代行させ、平日は9時～20時、土・日は9時～17時まで、電話による回収業務を行うなど、税に関わる市民の個人情報をも民間業者に渡すことは、個人情報の保護からしても問題である。

以上のことから、県の地方税滞納整理機構および市税等コールセンターに関する業務委託に反対する。

全認定に賛成

池田義治

収支がゼロである墓地特別会計以外の各会計は、全て黒字決算となっており、また、実質公債費比率や将来負担比率、経常収支比率などの主要な財政指標も良好な水準を示しており、市の予算執行、財政運営が適切で堅実に行われていると判断する。

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける子育て世帯や市内の中小企業への支援、関係医療機関との協力による積極的なワクチン接種などに取り組んでいる。

加えて、重点施策に予算を配分し、各種事業に積極的に取り組む、全国的な人口減少の中で、市の人口が増加している状況から判断すれば、大いに評価すべきものである。

以上のことから、令和3年度10会計の決算を認定することに賛成する。

駒ヶ根市との交流事業

10月4日～5日

10月4日から5日にかけて、駒ヶ根市議会との交流事業を行いました。

駒ヶ根市とは、災害応援協定締結を契機に、商工会や町会区長会など幅広く交流が行われており、平成30年度に両市の更なる交流と発展を目的とした、友好都市提携を締結しています。

今回の交流事業では、同規模の市議会議員との意見交換を通じて、自治体の課題や議会の運営についてなど、普段とは異なる視点での意見を聞くことができ、今後の参考となりました。

また、災害応援協定のきっかけである県立看護大での視察では、看護大同士での連携や今後の取り組みなどについて確認することができました。

今後も両市にとって有意義な交流を継続していきます。

一般質問

タブレット端末による
議会運営の効率化

令和元年度より行政視察などを実施し、実際の運用方法や課題などについて検討してきたタブレット端末を導入しました。

9月定例会では、議案や委員会で説明資料など、PDFデータをペーパーレス会議システムに保存し、会議当日は、タブレット端末に表示される資料を確認しながら、執行部からの説明を受け、議案審査などを実施いたしました。

タブレット端末の導入により、資料や開催通知などのペーパーレス化によるコスト削減や環境負荷の低減を図るとともに、資料の訂正などに係る市職員の負担軽減も期待できます。

また、議員間での情報共有、一斉連絡による情報伝達の迅速化など、事務の効率化を図ることができそうです。



塚本 佐和子

Q 市民と行政との協働をより一層推進し、基本的な考え方や方向性を示すため、明確な方針を見える化するなど、協働推進に向けた環境整備と仕組みづくりを積極的に行っていたかどうか。

その上で「協働」という関係性のもとで、ひとつでも多くの地域課題の解決や目標の実現につなげられる取り組みを求めている。

A 総務部長 市民協働を推進するためには、環境整備と仕組みづくりが必要であると認識している。

市民が参画しやすい環境づくりを調査研究していく。



市民協働によるまちづくり

今後、実際に運用を進めていく中で、市民の方からの質問への対応や過去の資料の確認など、タブレット端末の機能を最大限活用した議会活動について検討を続けていきます。



ペーパーレス会議で行う広報特別委員会

*PDF 紙に印刷するように配置したページの状態を保存するためのファイル形式

質問 1

市民協働推進において具体的な環境整備とは

今後は窓口整備が必要であると考えている

Q 市民協働推進に必要な具体的な環境整備とは。

A 市長 市民協働について、どういったところに相談すればいいかわからないという声もあるため、将来に向けて相談窓口の設置を検討していく。

色々な意見を施策に反映し、少しでも皆さんに満足していただけるよう、これからも取り組んでいく。

質問 2

産後ケアの拡充状況は

情報交換を行う場の準備を進めている

Q 昨年6月の定例会で質問した「産後ケア」の拡充について、親御さんのニーズにお応えしたという答弁であったが、その後の調査結果に基づいた具体的な産後ケア拡充について問う。

A 市長 産後4か月のアンケートでは、

- 産後1か月程度、保健師などからの指導・ケアは充分に受けられている 90%
 - 産後は楽しい 94%
 - 心身の調子が良好である 87%
 - 今後もかほく市で子育てしていきたい 98%
- と一定の評価をいただいている。



母子相談会

今後は、全てのお宅への訪問・子育て相談に加え、妊娠期からの支援強化として、産後の母子相談会に妊婦の方も参加し、育児中の母親と情報交換を行う場の準備を進めている。

今後も産後ケアのニーズを把握しながら、医療機関や関係機関と連携し、切れ目のない支援を行う。

一般質問 あなたの声を市政に

各ページの「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画でご覧になれます。

※機種によりご利用いただけない場合があります。
※視聴にかかる通信料等の費用は、ご自身の負担となります。
※動画の保存期間は、概ね1年間です。

ページ	質問事項	質問者
5	市民協働推進について ほか	塚本佐和子
6	JR高松駅北側の踏切の道路の拡幅について ほか	長柄 裕
7	消雪パイプ装置の整備について ほか	中川 康弘
8	学校給食の無償化実施について ほか	高橋 成典
9	児童・生徒の新型コロナウイルス感染拡大防止について ほか	池田 義治

質問者

一般質問



長柄 裕

Q JR高松駅北側踏切は、通勤通学者も多く大変危険である。踏切の拡幅または歩道を整備できないか。

A産業建設部長 本市におけるJR七尾線の踏切数は全部で23箇所。これまでに、平成17年度の宇野気駅南側の白尾第2踏切で9メートルへの拡幅工事を実施している。また、平成31年4月からはJRを立体交差する跨線橋・宇気松浜高架橋も設置し、周辺踏切の交通量軽減を図っている。

踏切拡幅工事には、JRとの協議に於いて様々な前提条件をクリアする必要がある。また、国土交通省では踏切道改良促進法に基づき、地域の声を取り込

質問 1

JR高松駅北側踏切の拡幅・歩道整備を

事業化は困難であるが、石川県との協議を行う

み道路や鉄道の安全性の向上、交通の円滑化を図る事としている。

実際には、踏切改良事業を実施する場合には交通量・事故発生件数・周辺の施設等の立地状況を総合的に検討し、拡幅の必要性について判断が必要である。

JR高松駅北側の踏切の現状は踏切幅員5・4mで接続道路とほぼ同じ幅員のため、道路改良も含まれる事業化は困難であり、道路管理者である石川県との協議を行う。

質問 2

人工リーフの設置状況は

Q 引き続き要望活動を行う
高松海岸の浸食が深刻な状況である。

人工リーフの設置状況は。

A市長 海岸の現状工事は、秋浜地区の人工リーフ150メートルのうち、48メートルが実施中であり、今年度中には81メートルが完成する。

石川県では、高松海岸などの海岸浸食対策事業の未実施箇所においても、汀線測量を実施し、



高松海岸

*汀線 陸地と海面の境界線

浸食状況などの調査結果を踏まえ、今後の優先すべき箇所や対策工法などについて検討していると聞いている。

市としては、秋浜地区の人工リーフ工事の早期完成と、高松海岸などの未実施箇所における浸食対策の早期着手について、国や県に対し、引き続き要望活動を実施していく。

一般質問



中川 康弘

Q 県道高松・内灘線における消雪パイプ未整備区間の整備要望の進捗と、市内の消雪パイプの現状と新たな整備への考えは。

A産業建設部長 県に要望している県道の消雪パイプの未整備区間については、当面、機械除雪や凍結防止剤散布にて対応し、引き続き、県に粘り強く要望活動を行う。

市内消雪パイプ施設は、現在117か所、消雪井戸は、111か所、市道総延長の約21%に消雪パイプが整備されている。

現有の消雪施設の維持管理に多額の改修費用を要しており、除雪車による除雪作業の方がコスト的に有利であることなどから、交通ネットワークに大きな

質問 1

消雪パイプ装置の整備について問う

新たな消雪施設の整備は考えていない

変化がない限り、新たな消雪パイプ装置整備については考えていない。



消雪パイプ装置

質問 2
公共施設の男性トイレにサニタリーボックスを設置せよ

男性用個室トイレ1箇所以上の設置に取り組む

Q 男性特有の前立腺がんや膀胱がんは、手術後の影響で頻尿や尿漏れの症状が起きやすくなるため、尿漏れパッドを着用す

ることが多く、また、高齢になっ

て排尿コントロールが難しくなり、パッドを使う人もいる。

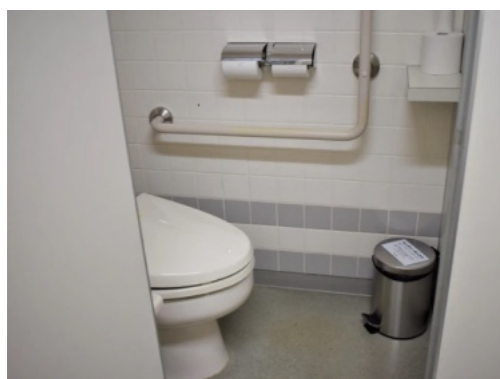
本市公共施設の男性トイレには、サニタリーボックスの設置が進んでおらず、パッドを捨てる場所がないため、外出先から自宅までビニール袋などに入れて持ち帰ることになる。

赤ちゃんのおむつ替えをするお父さんやLGBTQなどの性的少数者への配慮につながるサニタリーボックスの設置への考えを聞く。

A市長 市内公共施設のトイレにおけるサニタリーボックスの設置調査を行った結果、市内公共施設の全ての多目的トイレにサニタリーボックスを設置しているが、男性用個室トイレには

設置されていなかった。

各公共施設の多目的トイレのサニタリーボックスを容量の大きいものに取り替え、個室スペースが狭く、設置が困難な場合を除き、男性用個室トイレのうち1か所以上にサニタリーボックスを設置するよう取り組む。



サニタリーボックス

一般質問



高橋 成典

Q 学校給食無償化は、加賀市など石川県内でも4割余の市町で実施されてきている。

また、義務教育の無償化という点から、段階的にでも実施に踏み切るべきでは。

A 教育長 学校給食費の完全無償化は、年約1億6000万円程度の市独自財源が必要であり、現実的な施策ではない。



学校給食のひとつ時

質問 1

県内他市町同様、学校給食無償化を実施せよ

現実的な施策ではない

質問 2

空き家バンクの推進策は

新たな奨励金制度で対応

Q 市の空き家バンク登録推進奨励金制度は、増加する空き家対策に効果的であり評価する。空き家の件数が600件を超えている一方、空き家バンクは登録ゼロの状態である。現状を打開するためにも思い切った施策をすべきでは。

A 市長 奨励金制度は、空き家バンクへの登録時に奨励金を交付し、宅建業者の所有物件も対象とするなど、他自治体と比較しても充実した制度である。また、市職員で組織する空き家対策プロジェクトチームで、空き家の解消、利活用に向け検討を進めていく。

質問 3

市営バス利用を無料に

利用者の意見聞き利便性

Q 市営バスを福祉巡回バス同様、誰でも無料で自由に利用できるようにすべきではないか。

A 産業建設部長 無料化により県の運行費補助金やバスの購入補助金などの対象外となり、財政的な負担が大きく運行の維持が困難になる。現状を維持しながら、利用者の方のご意見・ご



高松地域を走る市営バス

質問 4

自動録音装置は貸与に

柔軟に対応する

Q オレオレ詐欺などの防止効果が期待される自動通信録音機（特殊詐欺対策装置）を無償貸与する取り組みは評価する。貸出期間が半年間となっているが、東京都狛江市などと同様に、無期限での貸与とすべきではないか。

A 市民生活部長 期間を定めて貸し出すことにより、自動通信録音機をより多くの方に利用してもらおう。貸し出しが100台分を超えた場合は、台数を増やすなど柔軟に対応する。

一般質問



池田 義治

Q 児童生徒のコロナワクチン接種状況は。

A 市長 令和4年8月末時点で、5～11歳の2回目接種率23%、12～17歳の3回目接種率39・3%で国や県の接種率を上回っている。

Q 感染拡大防止の取り組みは。 A 手指消毒などの基本的な感染症対策を徹底して実施している。

Q ワクチン接種率の向上策は。 A 小児用ワクチンの接種場所の追加、夏休み中の集団接種において、12～17歳の優先枠を3回設定して実施した。

Q 接種状況を公表しては。 A 健康福祉部長 ホームページで接種状況を公表する。

質問 1

児童生徒の新型コロナ感染拡大防止を

医師会と連携を密に接種を進める

質問 2

自殺予防対策の取組は

診断ツール導入を検討

Q 相談窓口への問合せ状況と自殺死亡率の現状は。

A 健康福祉部長 相談窓口には直接自殺につながる案件は無い。また、自殺死亡率は減少傾向だが、目標数値は未達成である。

Q ゲートキーパーの出前講座参加者数と養成数は。 A 出前講座の開催実績は0件、養成講座の受講者数の累計は、276人である。

Q 「こころの体温計（心の健康診断ツール）」を導入しては。 A 厚生労働省の「こころの耳」

を周知し、民間セルフチェックシステムの導入を検討する。

質問 3

防災行政無線について

伝達手段の整備を検討

Q 防災行政無線使用状況は。

A 市民生活部長 火災発生時など、本年度9回使用している。

Q テレフォンサービス周知の取り組みと利用状況は。

A テレフォンサービスは暮らしのガイドやホームページで案



かほく市自殺対策計画

*ゲートキーパー 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人



防災行政無線と防災情報配信

内しており、利用件数は8月末時点で47件である。 Q 防災行政無線の放送内容について「いいメールかほく」やLINEで配信できないか。 A 災害情報の伝達は、複数手段で行う方が確実にきめ細やかに行うことができる。伝達手段の整備について費用対効果も含め検討する。

かほく市身体障害者福祉協会との意見交換会
8月2日

意見・要望

「バリアフリーで誰もが暮らしやすい社会」を実現するため、様々な障害者福祉施策により取り組まれているが、バリアフリー社会の実現には、物理的または心理的なバリアフリーや制度的なバリアフリーなど、解決困難な課題がたくさんあります。自分達では気づかないような課題や違う観点からの意見を聞くことにより、課題解決に向けた取り組みの参考とするため、市身体障害者福祉協会のメンバー13名との議会報告会および意見交換会を開催しました。

最初に猪村議長が、令和4年の定例会の内容を中心に、議会の取り組みなどについて報告した後、意見交換会を行いました。内容については次のとおりです。

○市総合体育館のバリアフリー化について

障がい者の方が利用しやすい体育館とするため、アリーナ観覧席には、介助者の方も一緒に観覧することができ、車椅子専用スペースがあること、他にも、だれでもトイレや、多目的に利用することのできるロッカールームのシャワースペース、また、障がい者の方専用駐車場が施設の入口付近に整備されていることなどを説明しました。

メンバーの方から、大会を開催する際には、専用駐車場がもっと必要になるとの意見がありました。大会当日の運営により柔軟に対応できるのではないかと意見もありました。

○いしかわ支え合い駐車場制度について

公共施設や商業施設の障がい者等専用駐車場において、マナー違反が多くて困るため、石川県が当該駐車場を利用できる方を明確にし、必要な方が利用しやすいように発行している県内共通の利用者証の提示を推奨してほしいとの意見については、一人一人のマナーの問題であるため、解決は難しいが、県の制度については、各自、機会があることに周知することはできるとの意見がありました。



いしかわ支え合い駐車場の表示

○40人乗りマイクロバス購入について

市の風呂入浴事業の送迎バスは、29人乗りバスが効率的な運用であるため、40人乗りのバスの購入予定はないことを説明しました。

まとめ

市身体障害者福祉協会メンバーの方々の意見交換により、改めて日常生活における様々な課題について気づくことができました。

解決困難な課題もありますが、議会としても、今回いただいた意見を参考に、市に対して有効な取り組みを提案できるように検討していきます。



ポッチャで交流

総務 建設 常任 委員会

育児休業の取得回数制限緩和

おもな審査内容

◎職員の育児休業等に関する条例の一部改正

「地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の一部改正に伴い、職員の育児休業の取得回数制限の緩和などについて、所要の改正を行うもの。

高橋委員

正規職員と会計年度任用職員との取り扱いに差異はあるか。総務課長

取り扱いに差異はあるが、他の自治体同様、国の法律・通達等に準じて対応している。

◎税条例等の一部改正

個人住民税において、上場株式等の配当所得等に係る課税方式の見直しや、住宅借入金等特別税額控除の適用期間の延長措置等を行うほか、固定資産税において、固定資産課税台帳の閲覧及び証明書の交付におけるドメスティック・バイオレンス被害者等の支援措置を講ずるなど、所要の改正を行うもの。

*ドメスティック・バイオレンス 日常を共にする相手から受ける暴力行為(家庭内暴力)

◎字の区域及び小字の名称変更

県営ほ場整備事業「中沼・夏栗地区」のうち、中沼工区の完成に伴い、従前の区画形状に変更が生じたため、字の区域及び小字の名称を変更するもの。

長柄委員

区域および小字を変更する必要性は。

総務課長

ほ場整備により、筆数および地積なども大幅に変更となるため、従前の小字を用いて地番を設定し直すよりも、新たに小字や地番を設定する方が簡潔・明瞭であり、これまでの県営ほ場整備においても同様の対応を行っている。



中沼地区のほ場整備

*ほ場整備 ほ場(水田や畑など農作物を栽培するための場所)の区画化・排水改良・農道拡幅により、大型機械の導入を可能とし、作業効率の向上・生産コストの大幅な低減を図ることを目的としています。

総務建設常任委員会

- 委員長 金子 正 猛
- 副委員長 坂井 照 雄
- 委員 寺内 成 一
- 委員 杉本 成 典
- 委員 高橋 裕 潤
- 委員 大西 裕
- 委員 長柄 裕

予算
決算
常任
委員会

議会定例会初日の8月30日に説明を受け、質疑を経て各議案の詳細な審査を分科会で行い、9月13日に両分科会での審査内容の報告を受け、採決を行った。

総務建設分科会
9月9日開催

おもな質疑

高橋委員
高松駅前一時駐車場の利用方法は。
産業振興課長
設置する自動券売機による事前精算方式とする予定である。
大西委員
不正利用対策は。
産業振興課長
注意喚起や定期的な巡回により対応する。



合葬墓（内灘町）

長柄委員

昨年度の委託業者が除雪委託を辞退する理由は。

都市建設課参事

オペレーターの高齢化および除雪機の老朽化により、除雪業務の継続が困難となっている。

総務建設分科会

合葬墓整備に係る予算計上

市民文教分科会

特殊詐欺被害防止対策を強化

高橋委員

長寿命化計画の対象でない橋梁の管理はどうなる。

産業振興課長

5年ごとの定期的なチェックにより、修繕の必要性を検討し、適切に維持管理を行う。

長柄委員

昨年同様、カニの高騰が予想されるが、ふるさと納税返礼品への影響はないか。

総務課長

高騰する時期を避けて返礼品を送付するなどの工夫により、対応できる。

総務建設分科会 審査案件

内容	主な内容
令和4年度一般会計補正予算(第4号)	<ul style="list-style-type: none"> 若者マイホーム取得奨励金の追加 空き家バンク登録促進奨励金の創設 高松駅前一時駐車場における自動券売機設置 新規就農支援、農業用機械設備導入補助金 農道橋長寿命化(悪水川6号・7号) 商工業振興助成事業補助金(2件) 多田川の護岸改修及び浚渫工事、旧宇ノ気川浚渫工事 など
令和4年度かほく市水道事業会計補正予算(第2号)	<ul style="list-style-type: none"> 合葬墓の施設整備に係る調査・設計費 など
令和4年度かほく市墓地特別会計補正予算(第1号)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の体育館や保健室でのWi-Fi環境を強化すること のことが、その他の場所での利用要望はないか。 教育部長

市民文教分科会

9月8日開催

おもな質疑

竹内委員
特殊詐欺対策装置設置の対象となる高齢者世帯への周知方法は。
防災環境対策課参事
広報、ホームページ、いいメールかほかの他、老人会の会合などの機会を捉えて広く周知を行い、警察署とも連携しながら幅広く周知を行う。
丸井委員
高齢者世帯の方が、特殊詐欺対策装置を設置するのは、困難ではないか。
市民生活部長
利用申請時に設置方法について選択することができ、無料で事業者を設置を依頼することもできる。

中川委員

マイナンバーカードの交付率は。

市民生活課長

8月末現在47・3%で、全国平均と同程度の交付率である。

杉本正一委員

イオンのマイナンバー臨時交付窓口の利用状況は。

市民生活課長

市役所窓口と同程度の利用件数の月もあり、利用件数は増加している。

池田委員

小中学校の体育館や保健室でのWi-Fi環境を強化すること

杉本正一委員

各地区公民館などの修繕に関する優先順位を決める基準はあるか。

生涯学習課長

各地区からの要望事項の中で優先順位や雨漏りなどによる緊急性、予算規模などに応じて総合的に判断している。

中川委員

消防設備以外で定期交換が必要なものはないか。

生涯学習課長

AEDなど使用期限があるものについては、定期的に交換を行っている。

予算決算常任委員会

委員長 杉本 正一
副委員長 大西 潤
委員 議長を除く12名



特殊詐欺対策装置（自動録音機）

市民文教分科会 審査案件

主な内容
<p>令和4年度一般会計補正予算(第4号)</p> <ul style="list-style-type: none"> マイナンバー交付機器等整備 特殊詐欺被害防止対策 全国健康福祉祭参加費助成(かながわ大会) 空家等対策補助金の追加 小中学校における通信環境(Wi-Fi)の強化 寄付金を活用した遊具の更新や学校教材等の購入 地区公民館の空調修繕、雨漏り補修等

● ケーブルテレビ事業特別会計
加入状況およびコロナ禍により、参加制限のある行事もあつたため、番組編成を変更して対

● 墓地特別会計
墓地の返還区画数について確認した。

● 一般会計
新婚さん住まい応援事業を受けた方の定住率、ほ場整備事業の必要性および地元負担金、イノシシ捕獲奨励金の額、救急出動時の搬送先や救急ボランティアの育成計画、防火水槽の新設方針などについて確認した。

総務建設分科会
9月15日開催

9月13日に、付託された令和3年度の各会計の決算認定10件に関して概要説明を受け、詳細な審査は総務建設・市民文教分科会で、分担して審査を行った。

● 一般会計
各地区防災士の高齢化への対応、こども園における保育ママの役割、プレ妊活検診の実施状況、新型コロナウイルスワクチン接種事業におけるコールセンターの運用状況、小中学校におけるICTサポートなどについて確認した。

市民文教分科会
9月14日開催

● 下水道事業会計
施設の統廃合などによるランニングコストの削減について確認した。

● 大海財産区特別会計
令和2年度の大雪による被害について、森林保険からの収入により、折損木を処理したことを確認した。

応じたことを確認した。

予算
決算
常任
委員会
事務事業を数値化して評価

7月29日に2分科会で審査対象事業の抽出を行い、「事業評価シート」をもとに、費用対効果や事業の妥当性、市民ニーズ、改善点などに着目し審査した。

総務建設分科会
8月8日～9日開催

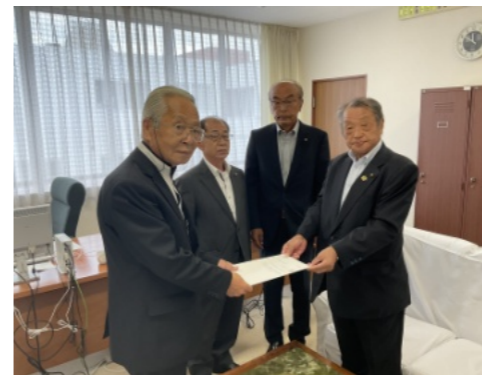
昨年度の指摘事項や提案などを踏まえ積極的に取り組まれているが、新型コロナウイルスの影響や高齢化により、新たな課題が生じている事業もある。引き続き職員の創意工夫や民間との連携による新たな取り組みに期待する。

市民文教分科会
8月23日～24日開催

事業成果個票の内容に対して、該当する予算事業内容だけでは

結果報告

不足である事業もあるため、今後の新たな取り組みに期待する。引き続き事業の創意工夫に期待するとともに、周知やPRについても積極的に行うことを求める。



委員長から議長に報告書を提出

令和3年度決算に係る議会による行政評価

総務建設分科会審査（抽出7件）

担当課	事業名	評価点
産業振興課	担い手育成に関する事業（仮）	85
産業振興課	観光振興による新しい人の流れの創出	70
産業振興課	戦略的な企業誘致の推進	75
企画振興課	空き家空き店舗の活用による賑わいの創出	90
企画振興課	ふるさと回帰による関係人口の創出	70
企画振興課	石川中央都市圏連携事業の推進	80
企画振興課	石川県立看護大学及び県内大学による地方創生推進事業	80

市民文教分科会審査（抽出10件）

担当課	事業名	評価点
学校教育課	多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業	85
スポーツ文化課	する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出	85
生涯学習課	学校を核とした地域活力（地域教育力）向上事業	75
生涯学習課（哲学館）	西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発	80
健康福祉課（産業振興課）	障害者の暮らしの安全と生きがいづくり	70
健康福祉課、長寿介護課	市民の健康づくりと「健康なまち」づくり基盤の整備	75
長寿介護課	新技術を活用したまちづくりの推進	60
長寿介護課	高齢者の生きがいづくり環境の整備	75
子育て支援課	親と子どもともに健やかに成長できる環境づくり	90
子育て支援課	幼児教育の環境整備	90



詳細はこちらから

報告書提出

● 国民健康保険特別会計および後期高齢者医療特別会計
団塊の世代の方々が後期高齢者医療制度に加入する年齢に到達することで、被保険者数は国民健康保険では減少し、後期高齢者医療では増加する傾向が続くことを確認した。

● 介護保険特別会計
コロナ禍のため、外出を控えることにより要介護認定者が増加傾向にあり、在宅での介護サービス利用も増えていることを確認した。

行政評価も含め、予算決算常任委員会での指摘事項については、10月6日に猪村議長と杉本成一副議長が油野市長に報告書を提出し、令和4年度の予算編成に反映するよう要請した。



議長から市長に報告書を提出

予算決算常任委員会
委員長 杉本 正一
副委員長 大西 潤
委員 議長を除く12名